令和５年度　第４回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和６年２月２日(金)　13 時 30 分から 14 時 10 分まで
開催場所	大垣市民病院２病棟１階　会議室
議　　題	定例報告及び紹介率向上への取組みについて
出席委員 （敬称略）	委員長　大垣市医師会長　沼口　諭 副委員長　大垣歯科医師会会長　馬淵　直樹 委員　大垣市医師会副会長　竹中　清之 委員　大垣市医師会理事　森　俊治 委員　安八郡医師会副会長　町田　崇史 委員　大垣歯科医師会顧問　片野　雅文 委員　大垣薬剤師会長　松本　正平 委員　大垣市教育長　細江　敦 委員　大垣市女性連合会長　竹中　昌子 委員　大垣保健所長　河野　芳功
公開区分	公開
傍 聴 人	なし
概　　要	**1. 報告事項** **(1)定例報告事項** **1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況、⑧地域の医療機関との連携相談実績について報告した。** ①紹介率……5 年 4 月～5 年 12 月:70.1% 逆紹介率…5 年 4 月～5 年 12 月:147.7% ②地域連携予約診察件数…5 年 4 月～5 年 12 月計:8,615 件 地域連携予約検査件数…5 年 4 月～5 年 12 月計:605 件 ③開放型病床登録医数…5 年 12 月末:163 人(医科 134 人、歯科 29 人) 開放型病床利用率…5 年 4 月～5 年 12 月:8.4% 緊急緩和ケア病床利用率…5 年 4 月～5 年 12 月:3.5% ④救急受診患者数…5 年 4 月～5 年 12 月計:29,328 人(月平均 3,259 人) 救急車利用件数…5 年 4 月～5 年 12 月計:8,418 件(月平均 935 件) 救急入院患者数…5 年 4 月～5 年 12 月計:2,600 件(月平均 289 件) ⑤地域医療従事者に対する研修…5 年 4 月～5 年 12 月開催数:20 回、院外受講者 91 人 ＊病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会等、西濃地域緩和ケア研修会、診療報酬に関する委員会等 市民対象講演会等…5 年 4 月～5 年 12 月開催数:5 回、院外受講者 66 人

	⑥地域連携クリニカルパス登録状況…5 年 4 月～5 年 12 月登録総数 543 件 5 年 12 月末時点でのパス開始からの登録総数:12,599 件 ⑦OMNet 利用状況…5 年 12 月末時点の利用登録医療機関:126 機関 診療情報閲覧に同意した患者総数:41,581 人 ⑧地域の医療機関との連携相談実績…5 年 4 月～5 年 12 月計:9,221 件 医療相談実績…5 年 4 月～5 年 12 月計:1,328 件 **2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。** （委員） 紹介率・逆紹介率は昨年と比較して良くなっているという事であるが、実質の紹介患者数は減っているという認識で良いか。その原因は何か。 （事務局） 紹介率が上がった原因は初診の患者数が分母として減っているというのが一番大きい。それによって率が変わっているという点と、逆紹介率についても同様に分母の方が初診の患者のところが変わっているというのが一番大きな原因となっている。計算上でそのような形になっている。初診料算定患者かつ紹介状ありは去年より増加している。先生方から紹介していただく患者さん自体は増加傾向にあるので、連携としては問題ないと思われる。紹介状なしの患者さんは特定診療加算がつくので少なくなっていくのは時代の流れかと思っている。 （委員） 全体として初診の患者さんが減っているという事は、地域全体の減少という風に考えてよろしいか。 （事務局） そういった可能性も十分ある。人口減少など。いきなり大病院にかかるという事は時代とともに少なくなって来ている。このような傾向は時代の流れかと感じている。 （委員） 3 回ぐらい連続で全体的にマイナスが続いている。人口減もあり、コロナが終って去年と比べると全体的に年間通して少ないのかなという感じがある。人口が減ってきてるからかずっと減り続けると思わなくはない。 （事務局） しっかり見ていく必要があると思う。 （委員） クリニカルパスも胃がんとか大腸がんとか脳卒中は少し減っているというような報告があったが、実際の対象患者数が減ってきたという認識でよいか。 （事務局） 手術件数が少し減っているというような現状があると思うので、そういった事を

	少し反映している可能性がある。 　外科の方では引き続きがんの手術後の患者さんは地域連携の中でクリニカルパスを使って診療していくという体制に変わりはない。 （委員） 　相談件数は非常に増えているという印象であるが、具体的な相談は退院支援の方が多くなっているという事か。 （事務局） 　退院支援の件数は今年に入ってからも増加傾向になっており、スムーズな退院支援を心がけて対応させていただいている。 （委員） 　今度の能登半島地震におきましては、大垣市民病院からもD-MAT活動されておるというような事を報道されており、ありがとうございます。 　救急車の活動が減ってきているようであるが、市民病院はどのような解析をされているか。 （事務局） 　紹介状の数としましても北部の郡部の方は多少減少傾向にあるので、その影響で患者さんも減っているのかなと解釈している。 （委員） 　今度、西濃地区の救急指定病院と医師会を交えて西濃の救急搬送の現状について考える会を予定している。その中で地域での救急搬送の現状なんかも捉えられればと思っている。 **(2)紹介率向上への取り組みについて** **1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。** 　①令和5年度4月から12月までの患者さんからの電話予約実績は557件。地域別では大垣市の先生が約9割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約4割を占めており小児科、耳鼻咽喉科の順となっている。 　②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和5年度4月から12月まで37件。診療科別としては、循環器内科が40.6%、神経内科が16.2%となっている。 **2) 委員から、上記の報告について意見・質問はなし。** **2. その他** （委員） 　質問ではないのですが、4月から一包化を院外処方に出すという事で、徐々に薬局の方に一包化の患者さんが来ている。患者さんから「他の薬局どこにありますか」

	というご質問があるが、FAX コーナーのところで地域別に薬局が分かるようになっているので、そこで質問していただければと思う。「処方箋出すところはどこでもいいです」と言っていただければと思う。FAX コーナーでは FAX だけにかかわらず 2 種類のアプリで院外処方を薬局に送れるというシステムを導入しているので、より便利に院外処方がスムーズにできるようになっている。2 月に市民病院近隣に薬局さんも開局されたので、よりスムーズに院外処方できる体制が整いつつあるので、よろしくお願いします。 （委員） 認知症の注射の治療薬が始まったと思うが、受け入れ先は多分神経内科になるんだろうと思うが、受け入れ体制側としてどのようにやってみえるのか。 （事務局） 当院は 2 月に対応できるようになった。お薬の特性上、約半年ぐらい治療されてから、先生方の方に紹介というような流れになるかと思う。検査体制とか準備段階を終えてからスタートする。 （委員） まだ投与はない。これからですね。 （事務局） 対象患者さんは 1 回 MRI を撮って確認してからという事であるが、対象となる患者さんが 1 人・2 人みえるという事は伺っている。 （委員） 我々が紹介する側として、なんでもかんでも送るとパンクしてしまうので。 （事務局） OMH Journal に少しその事を書いてもらう。 （委員） でないと限られた資源というか送れるところがどこもないので、1 ケ所に集中してしまうと大変なので。 （委員） レカネマブに関していろいろとどのように対応していくかという事もあるので、できれば研究会かメーカーさんでもいいので、一般のかかりつけの先生向けに講演会を開いてもらうといいかなとも思っている。また、神経内科の先生ともご相談しながら対応していけたらと思っている。 （事務局） 薬剤師の先生にお伺いします。当院では院外処方を進めていっているが、現在インスリンの供給が一部不十分なところがあって、一包化の方をご紹介させていただく場合に、先日、このインスリンはうちでは仕入れられないというようなお返事をいただいた事があった。病院の薬局の状況と院外の薬局の状況とは少し違うのかな

	というような気もしているが、その辺りの情報があったらお教えていただきたい。 （委員） 　インスリンに関して一部ヒューマログとその辺りの商品は実績のある薬局だと入ってくるが、新規の場合だと入荷が難しい時がある。我々薬局には備蓄の見られるシステムがあり、交換・貸し借りができるので、それによって対応している。 （事務局） 　その辺りをご周知していただくと助かる。 （委員） 　また周知させていただく。 （委員） 　市民病院はWi-Fiとか患者さんが使える状況ではない。ルーターとか持ち込み禁止と書いてあった気がするが、その辺りはどうなっているのか。 （事務局） 　病院内のLAN環境・無線環境は、アンテナの数が潤沢に揃えているという状況ではないので、今は業務用という形だけで開放している。実際患者さんに使っていただこうとするとどうしても無線の環境をもう一度整備しないといけないという状況になっている。まだそこまで至っていない。 （委員） 　患者さんがご自分のを持ち込むのもダメと書いてあった気がする。 （事務局） 　業務として影響が出るという事でご遠慮いただくとしている。 （委員） 　新聞なんかでも患者さん用のWi-Fi環境が言われているので、検討していただいているか。 （事務局） 　システムの更新とか含めて、環境については、次世代のLAN環境も含めて見据えてはいる。工事とか含めた全体的な話があるので、そういった事については検討している。 （委員） 　前向きに考えていただければと思うのでよろしくお願いしたい。 （委員） 　院内のDX化とか踏まえると、院内LANを作らないとDX化が進まない。その辺も踏まえて更新していってもらえるとよりよい病棟になると思う。 （委員） 　患者になって市民病院を紹介された。大変先生方が親切であるという事と看護師さん達の関係がすごくスムーズというかいい感じで接してくださったのでありが

	とうございます。 （委員） 　患者さんをこちらから予約する時に、混んでいるとかどれぐらいの予約状況であるとかという事が見れると予約する時にうまく予約が取りやすいかなという事もあるので、もし可能であればそういう事も検討いただきたい。
次回開催	令和６年度第１回委員会は令和６年５月に開催予定とする。